

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和6年5月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.76)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



各小・中学校が第1回学校運営協議会を開催

今月、各小・中学校で今年度の第1回学校運営協議会が行われました。今回の会議では、議事が「学校運営への意見」、熟議が「教育環境を生かした取組」で委員の皆さんによる意見交換が行われました。

議事では、新年度が始まってからの子どもたちの様子や今後の学校の取組等への意見や質問がありました。熟議では、地域、家庭の教育環境や資源を生かした取組について話し合いました。熟議での主な意見を紹介します。

なお、今回の意見を参考に、取組の容易性や可能性を踏まえ、学校と検討しながら実施を目指す内容を第2回の学校運営協議会で確認することになっています。

* * * * *

【広尾中学校（5月10日実施）：「教育環境を生かした取組」の意見】

・職業（職場）体験 ・自然体験 ・町の昔をお年寄りから学ぶ ・コンプ体験 ・ボランティア体験（イベント、高齢者福祉） ・町のサークルへの参加 ・海産物、ジビエ学習 ・高校と連携した活動（行燈等） ・地元食材で作る体験 ・芸術鑑賞の体験 ・部活動への地域人材活動 ・不登校生徒への対応強化 ・生徒の居場所づくり 等



* * * * *

【豊似小学校（5月13日実施）：「教育環境を生かした取組」の意見】

・牧場見学 ・収穫体験（いちご、さつまいも、じゃがいも） ・体験学習 ・自然に親しむウォークラリー ・地域の方による塩作りを学ぶ ・農業、水産業など地域の人材を生かした学習 ・ドローンを使って地図の作成 ・ジビエを学ぶ ・ロケットの打ち上げ（夢を持つ） ・学級の活動（取組）を全校で見合う 等



〈広尾小学校の内容は裏面に掲載しています〉

【広尾小学校（5月15日実施）：「教育環境を生かした取組」の意見】

・町のイベントへの参加促進 ・地元食材による調理体験 ・サンタメールの活用 ・乗船体験 ・お菓子づくり ・小、中、高の交流の場 ・高校の地域学の見学 ・農業や漁業の体験 ・観光協会ウェブサイトの活用 ・ジビエ学習 ・地域おこし協力隊との連携 ・ラグビーのメッカに ・食育（豊富な資源） ・魚釣り体験 ・地元よさこいチームと一緒に活動 ・プログラミングを学ぶ ・地元産給食の活用 ・町の施設の有効活用 ・町の歴史を知る ・防災教育 等



重点教育目標を目指して：広尾小の授業

各学校では、今年度の重点教育目標を目指して教育活動が行われています。先生方は子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいます。今回は、広尾小学校の2年生の授業の様子を紹介します。なお、広尾小の重点教育目標は「考えて伸びる子を育てる」です。

《広尾小学校2年生：国語科、単元名「すみれとあり」》



子どもたちは、すみれの花が実をつけ、地面に落ちた種をありが巣に運ぶ様子について読み取っていました。音読の時には、一人一人がしっかりとはっきりした声で、教科書を読むことができていました。

また、ありが種を運ぶ様子を順序立ててよく考え、先生の質問に積極的に手を挙げ答える姿が多くありました。

ようこそ「ふれあい広場」へ！！（広尾っ子応援団本部事業）

「放課後読書等ふれあい広場」は、火曜日と木曜日（6時間授業の日）に広尾小の空き教室で、午後3時から4時まで開設しています。利用できるのは4年生以上で、読書、折り紙、カードゲーム、パズル、ドミノ等でお友達と交流することができます。

